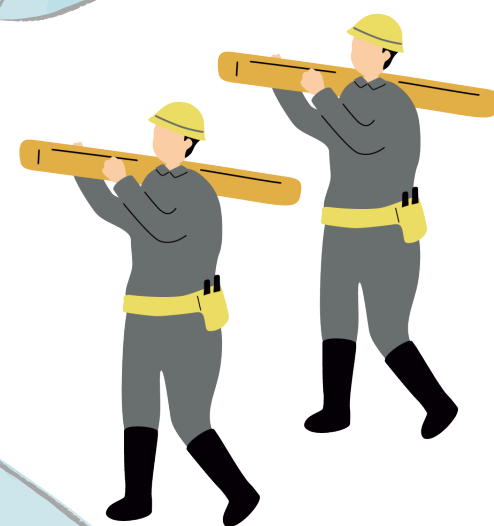


# 第121回

# EVENING THEATER

## 《アニメ×土木》



近年、日本のアニメは世界から注目され、その輸出額は2022年度には1.5兆円を超えたと言われています。

また、アニメを通じて、日本文化に興味を湧いた、日本語を覚えたという海外の方も多数いらっしゃいます。

もはや、日本のアニメは、世界に誇れる文化の一つと言えるでしょう。そこで、土木技術映像委員会では、「アニメ×土木」というテーマで、一度は見て頂きたい選りすぐりの2作品を上映することと致しました。皆様のご参加をお待ちしております。

**2025年5月14日(水)**

**18:00開場 18:30開演 参加無料**

土木学会 講堂（JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分）

**HPにて参加申込み受付** <https://committees.jsce.or.jp/avc/>

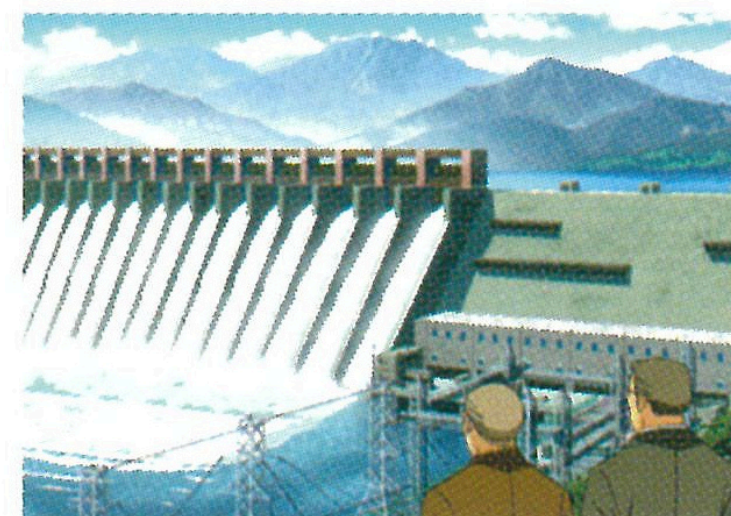
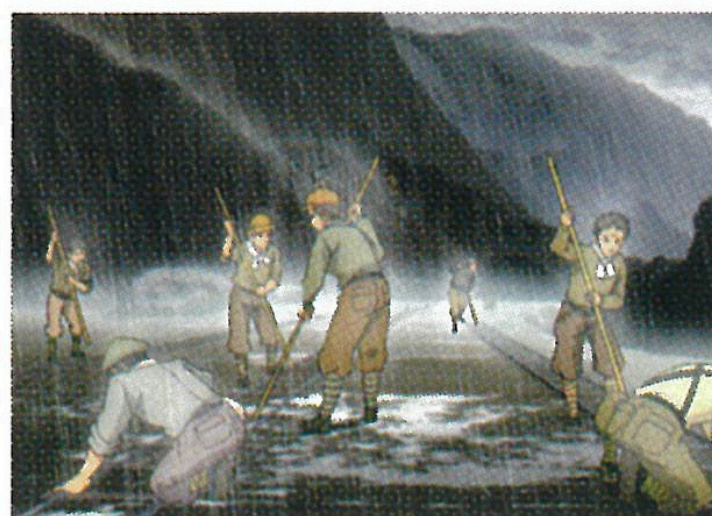
土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラムです。

問合せ先：土木学会附属土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

The 121<sup>st</sup>  
JSCE  
EVENING  
THEATER

# 夢は世界をかけめぐるー海外技術協力のパイオニアー

企画：緒方英樹 制作：虫プロダクション株式会社



国際コンサルティングに道を開いた久保田豊の半生を、アニメーション、記録写真、実写映像を使用して描いた作品です。雄大な阿蘇の麓で育った久保田は、自然を相手に仕事をしたいと考え土木技術の道に進み、ダムを作り発電所の建設こそが世の中を豊かにすると考えるようになり、やがて中朝国境に当時世界最大級のダムを建設する仕事を成功させます。戦後は、経験と技術を活かし事業の相談、設計、計画、調査などを行うコンサルタントを第二の人生に選び、世界各地で建設の指導に当たります。

この作品は、戦前の著名な土木技術者の一人である久保田の活躍と戦後日本の海外協力、コンサルタントの発展も示されています。

## 未来に向けて～防災を考える～

企画：一般社団法人 東北地域づくり協会 制作：虫プロダクション株式会社



2011年3月11日に発生した東日本大震災において、津波被害から多くの命を守った二つの地域の逸話を紹介した作品です。一つ目は、明治、昭和の三陸津波で多くの犠牲者が出たことを教訓に、岩手県普代村長が、二度と悲劇を繰り返さないと決意し完成させた、高さ15メートルを超える防潮堤と水門の話です。二つ目は、「釜石の出来事」です。岩手県釜石市の鶴住居地区は、津波により壊滅状態になりましたが、小学校と中学校にいた児童らは、日頃の防災訓練を実践し、全員無事に避難しました。

この作品は、東日本大震災から得た教訓として「備え」と「避難」の重要性を、分かりやすく若い世代に伝える内容のアニメーション映画になっています。